



# 被虐待児童への支援論の研究

保健福祉学部 人間福祉学科

加茂 陽 (かもきよし)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 4531号室  
Tel 0848-60-1238 Fax  
E-mail kamo@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 家族支援論

キーワード： システムズ理論、SFBPT、児童虐待

## ●研究内容

- 1、SFBPTを理論的及び技法的水準において洗練すること。
  - 2、マクロ、メゾ、そしてミクロレベルの介入理論と技法を体系化すること。
  - 3、児童虐待を中心として家族の不適應への支援方法を構築すること。
- 1、SFBPTは評定法及び介入技法の選択方法に関して創造的な体系を提示しましたが、それらの理論的説明には曖昧な部分が残されています。この点に関して考察を深めたいと考えています。
  - 2、家族支援にはトランズアクションのシーケンス、このシーケンス群からなるサブシステム、サブシステム群から構成されるシステム（つまり家族）、そして家族システムとその背景システムというように、ミクロレベルからマクロレベルまでのシステムへの介入が不可欠です。これらの諸レベルへの「同型的」介入理論の体系化を試みています。
  - 3、同型的な発想とSFBPTの知見に基づき、家族の諸問題とりわけ児童虐待への効果的臨床、実践的介入法を模索しています。

## ●期待される成果と応用

- 1、成果 例えば、これまで『日常性とソーシャルワーク』、世界思想社、2003年、あるいは『被虐待児童への支援論を学ぶ人のために』、世界思想社、2006年において、SFBPTと同型的な視点に依拠した問題解決の実践を提示してきました。この方法論は、ソーシャルワーク、家族療法及び家族支援法に対して理論的及び技法的影響力を及ぼしてきました。また、とりわけ効果測定に関して整理することで、一層強い刺激を及ぼすと考えられます。
- 2、応用 一連の教育や医療、福祉分野での家族支援に携わる専門家に対して、短期で効果を明示可能な「同型的」SFBPTの理論的、技術的訓練がなされるならば、相談活動の量的、質的向上が実現されると考えます。

## ●想定される連携先

子ども家庭センター、児童福祉施設、教育相談所、医療機関